

「ミサ曲 第2番 ト長調」

(作曲:F. Schubert)

<ヴァイオリン>嵯峨山 庸子

<ヴァイオリン>伊左治 道生

<ヴィオラ>井木 恵

<チェロ>野田 祐子

<オルガン>山内 愛

<指揮>天野 裕介



混声合唱組曲「楽譜を開けば野原に風が吹く」
(作詩:和合 亮一 作曲:信長 貴富)

「Vamuvamba(ケニア)」(編曲:Boniface Mganga)

「月光光(香港)」(編曲:天野 裕介)

ピアノ連弾と三線のための「沖縄のスケッチ」より
「赤田首里殿内」(作曲:寺嶋 陸也)

「Gate Gate(カナダ)」(作曲:Brian Tate)

混声合唱のための「風を乗せたい」
(作詩:和合 亮一 作曲:高嶋 みどり) 他

<指揮>天野 裕介 <パーカッション>岸 直歩
<ピアノ>山内 愛・中野 園子

同声・混声合唱とピアノのための組曲

「僕の記憶のどこかに」

(作詞・作曲:佐藤賢太郎(Ken-P))

<指揮>天野 裕介 <ピアノ>中野 園子



2018年 **8月26日** 

The Voicefield Chorus
Hyogo Japan
Since 1977

開演 14:00 開場 13:30
芦屋ルナ・ホール

(JR芦屋駅より西、阪神芦屋駅より北、阪急芦屋川駅より南へ徒歩約5分)

入場料 1,000円(全席自由)

主催 合唱団ボイスフィールド

連絡先 090-6755-8728(みなもと)

E-mail: info30@voice.gr.jp URL: <http://www.voice.gr.jp/>

 <https://www.facebook.com/Voicefield1977>

第41回合唱団ボイスフィールド定期演奏会

合唱団ボイスフィールド



今年で創立41年、芦屋を中心に活動する混声合唱団です。「ボイスフィールド」という名前には、「世界中を歌の野原にしたい」という願いが込められています。幼い頃から合唱を続けているベテランも、音楽にあまり縁のなかった初心者も、10代から70代までの男女約35名が、お互いの個性を尊重しながら、共に音楽を楽しんでいます。活動は1977（昭和52）年の合唱団創立以来、欠かさず開催してきた年1回の定期演奏会のほか、合唱イベント「コーラスめっせ」や兵庫県・芦屋市等の合唱祭への参加、クリスマスコンサートの開催など様々。また、演出・演技等を伴った「シアターピース」とよばれる合唱劇の上演や、世界各地のユニークな歌の演奏、オーケストラとの共演など、ジャンルに縛られることなく、多種多

様な音楽に積極的なチャレンジを続けています。さらに、千原英喜さん、谷岡千代さん、北川昇さん、青島広志さん、石黒晶さん、丸尾喜久子さんなど、多くの作曲家に新曲を委嘱、初演するなど、新しい合唱曲の制作にも力を注いでいます。今年には創設指揮者の西牧潤がお休みをいただいておりますが、ボイスフィールドらしさを失うことなく、ご来聴の皆さまにお楽しみいただける演奏をお届けしたいと思っております。ご期待ください！

♪ゲストプレーヤー♪



大阪音楽大学卒業。モダン、バロック両方の楽器を弾きわけ、関西、関東のアンサンブル、オーケストラで演奏。リュート、チェンバロ、パイプオルガンとのデュオも好評を博す。また合唱団との共演や、宗教音楽の分野でも積極的に活動している。現在、大阪音楽大学非常勤講師、アンサンブル神戸、京都・パッサ・ゾリストン、アンサンブル・ロンドの各メンバー。

嵯峨山 庸子
《ヴァイオリン》
Yoko SAGAYAMA

チューリッヒ芸術大学大学院にてコンサートディプロム、オーケストラディプロムを卒業。これまでに山崎量子、小野聡、ウェンディ・エンデルレ・チャンブニー、カティア・フックス、ウルリケ・カウフマンの各氏に師事。2012年にチューリッヒオペラにて実習生を経る。関西を中心にソロ、オーケストラ、室内楽など様々なコンサートに出演。現在、大阪音楽大学付属音楽院さくら夙川校で講師を務める。



井木 恵
《ヴィオラ》
Megumi IKI



桐朋学園大学演奏学科卒業。東京芸術大学大学院古楽科修了。平成17年度文化庁新進芸術家海外留学生として、渡伊。宗倫安、小林健次、磯野順子、宗倫匡、若松夏美、エンリコ・ガッティの各氏に師事。イタリアの古楽団体Accordone等で演奏。古楽器による演奏会amici musicali、レクチャー、公開レッスンを開催。2017年丹波の森国際音楽祭のシンボルアーティストとして招聘される。うはらオペラシリーズなどでコンサートマスターを務める。

伊左治 道生
《ヴァイオリン》
Michio ISAJI

京都市立芸術大学音楽学部卒業。現在はフリーランスのチェリストとして、関西を中心に活動している。演奏する楽器はバロックスタイル、モダンスタイルのチェロのほか、ヴィオラ、ダガンバの習得にも励んでいる。楽曲が創られた時代の奏法や音楽表現に視点を置き、美しい音色による演奏を目指している。2011年黒川録朗賞、2018年姫路市芸術文化奨励賞受賞。



野田 祐子
《チェロ》
Yuko NODA



神戸女学院大学音楽学部卒業、同大学院音楽研究科修了。第20回兵庫県学生ピアノコンクール高校生の部最優秀賞・兵庫県知事賞等受賞、第10回宝塚ベガ学生ピアノコンクール大学生部門第3位。神戸女学院大学ハンナギュリックスエヒコ記念賞受賞。よんよんコンサート、関西新人演奏会等に出演。山内鈴子氏に師事。

山内 愛
《ピアノ・オルガン》
Mana YAMAUCHI

小学生の頃、エレクトーンアンサンブルの大会出場時にボンゴを担当したことをきっかけにパーカッションに興味を持つ。中学高校はサッカーとの両立が厳しく一旦音楽から離れるが、大学生になってからラテンパーカッションの練習をスタートする。亀崎ヒロシ氏、和佐野功氏（indigo jam unit）に師事。2016年に、憧れのプレイヤーであったラテンピアニストの仲田美穂氏のライブに出演。現在、京都工芸繊維大学大学院博士前期課程在学中。



岸 直歩
《パーカッション》
Suguho KISHI

合唱団ボイスフィールド メンバーいつでも募集中

練習日：毎週日曜日 18:00～20:30 または 17:30～20:30
会場：芦屋市立青少年センター、西宮市立鳴尾公民館など
団費：一ヶ月1,500円（学生500円）

練習時間や場所は変わることがあります お問い合わせください
090-6755-8728（みなもと）, info30@voice.gr.jp

